

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2014年アイビスサマーダッシュ(GⅢ)の勝ち馬セイコーライコウ(牡9歳/美浦・竹内正洋厩舎)は、7月14日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は37戦7勝で、今後は乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。2013年中山記念(GⅡ)などの勝ち馬ナカヤマナイト(牡8歳/美浦・二ノ宮敬宇厩舎)は、7月14日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績35戦6勝・海外2戦0勝で、今後は中山競馬場で乗馬となる予定です。2012年京都大賞典(GⅡ)の勝ち馬メイショウカンパク(牡9歳/栗東・荒川義之厩舎)は、7月16日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は53戦6勝で、今後は三木ホースランドパークで乗馬となる予定です。

### ●エイシンヒカリが依然として世界ナンバー1

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2016年1月1日から7月10日までに施行された世界の主要レースが対象で、新たにメトロポリタンHやロイヤルアスコット開催諸競走などが含まれます。ランキングトップは前回に引き続きエイシンヒカリ(129)。第2位タイ(126)には前回も第2位タイだったカリフォルニアクロームとウィンクスに加え、メトロポリタンHを14馬身以上の差で圧勝したフロステッドが第16位タイからランクアップを果たしました。日本調教馬はエイシンヒカリのほか、モリスが第5位タイ(124)、ドゥラメンテとマカヒキが第14位タイ(121)、サトノダイヤモンドが第20位タイ(120)と、前回同様計5頭がランク入りしています。

### ●セレクションセール開催

7月19日(火)、北海道新ひだか町の北海道市場で、1歳馬のセリ市「セレクションセール2016」(主催・HBA日高軽種馬農業協同組合)が開催されました。上場238頭(牡165頭/牝73頭)のうち175頭(牡127頭/牝48頭)が売却され、落札率73.5%、売却総額2億3880万円は同セール史上最高を記録。1頭あたりの平均価格は1336万4571円となり、最高価格をつけたのはテンイムホウの2015(父ルーラーシップ/曾祖母は小倉3歳S勝ち馬ダイナシュベール、近親に日本ダービー2着ボールドエンペラー)で5000万円でした(金額はすべて税別)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マーキュリーC(盛岡)でストロングサウザーが2度目の重賞制覇

マーキュリーC(JpnⅢ、7月18日、盛岡、2000m)は、4番手から一時中団まで位置取りを下げながら、4コーナーで内を突いた2番人気のストロングサウザー(田辺裕信騎手、牡5歳、父ハーツクライ)が直線で抜け出し、2月の佐賀記念に次ぐ重賞制覇。9番人気のタイムズアロー(船橋)が逃げたマイネルバイカをハナ差抑えて2着と健闘し、マイネルバウンスは5着、ソリタリーキングは7着、1番人気に推されたケイアイレオーネ(大井)は8着、グランドシチーは9着に終わっています。

### ●サンエイゴールドが盛岡芝の重賞3連勝【各地の主要3歳重賞】

オパールC(7月10日、盛岡、芝1700m)は、好位を追走したサンエイゴールド(牡、父ステイゴールド)が、逃げた北海道からの遠征馬ジャストフォファンを直線半ばで捉え、単勝1.6倍の支持に応えてはまなす賞、サファイア賞に続く重賞3連勝を達成しました。クイーンC(6月29日、笠松、1600m、牝馬)は、4番手を進んだ3番人気のJRAからの移籍馬ヘイハチハピネス(父プリサイスエンド)がゴール前で差し切り勝ちを収めています。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●愛オークス(G1)~4番人気タイのセヴンスヘヴンが快勝

アイリッシュ・オークスは7月16日、カラ競馬場に11頭が出走して争われ、オッズ15倍のセヴンスヘヴン(牝3歳、父ガリレオ)が後方追走から残り400mで進出、あと200mを切って外からアーキテクチュアをかわすと、これに2馬身 $\frac{3}{4}$ の差をつけて快勝しました。これで6戦3勝。前走の英オークスは差6着で、重賞初勝利。芝1200m、良馬場の勝ちタイムは2分34秒53。勝利騎手S.ヘファーナン、調教師は4頭出しで臨み、このレース5勝目のA.オブライエン。ロイヤルアスコットのリプルスデールS(英G2)を勝って1番人気のイーヴンソング(A.オブライエン厩舎)は7着。

### ●パリ大賞(仏G1)~人気薄のモントルメルが抜け出す

フランス革命記念日の7月14日、パリのサンクルー競馬場で行われたパリ大賞は、単勝18.9倍のモントルメル(牡3歳、父エアチャーフマーシャル)が3番手の内から抜け出し、レッドヴァードンに1馬身 $\frac{1}{2}$ の差をつけて優勝。通算7戦3勝、重賞初勝利。勝利騎手C.デムーロ。芝2400m、稍重の勝ちタイムは2分29秒56。